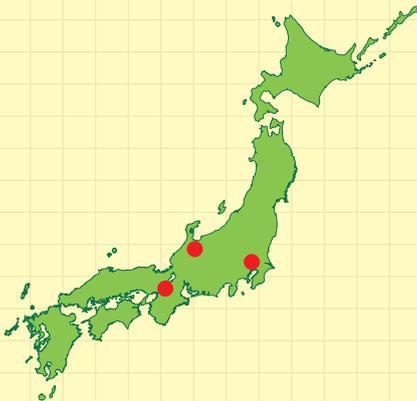




提供：NRW-Japan



多摩ニュータウン (提供：UR都市機構)

2014 | 12 | 1 (月) 9:30-18:00

「サステナブル社会のまちづくり」国際シンポジウム

主催：明治大学サステナブル建築研究所 + 国際連携本部
後援：団地再生支援協会、UR都市機構、国土交通省、都市計画家協会、東京自治研究センター、
東京市町村自治調査会、関西大学地域再生センター、文化日独コミュニティ

東京会議：

サステナブルなまちづくりの本質を探る

会場：明治大学・アカデミーコモン

参加費：無料

定員：150名 (定員になり次第締切)

組織：サステナブル社会のまちづくり国際シンポジウム実行委員会

用語：日本語・英語 (同時通訳)、和英併記配布資料あり

サステナブル社会構築に向けた「まちづくり」では、地域コミュニティの活性化を核とした都市環境再生の必要性がグローバルな共通認識となっている。わが国の場合、すでに都市や老朽化団地の再生に向けた行政的施策が用意され、幾つかのプロジェクトも試行段階に入っているが、現在の「まちづくり」ニーズに対応できるプランナーが十分には育っていない。一方のドイツ・EUは、サステナブル社会のまちづくりプロジェクトが多数実施されているが、現在進むグローバル化の中では、クオリティ・オブ・ライフの向上と効率の良いプロジェクトの推進が必要とされ、その具体策として、日本の「使い続けられる住環境」のコンセプトや建築産業化が注目されている。こうした現状認識により企画した本会議では、従来の日独の共同研究の成果を参照し、両国で進められる政策やプロジェクトを分析し今後の方策を探る。会議の成果を、報告書にまとめサステナブル社会の構築を指向するアジアなどの諸都市にも伝えられるようにする。

プログラム

09:30	受付
09:30	主催者挨拶 「会議開催の意義」 勝 悦子 (国際連携本部長)
	来賓挨拶 C.H.フォン・ヴェアテルン (駐日ドイツ大使)
	来賓挨拶 「使い続けられる住環境づくり」 内田 祥哉 (学士院会員、元明大教授)
09:50	基調講演 「グローバル化とサステナブル社会のまちづくり」 井上 俊之 (前国土交通省住宅局長)
10:20	主題解説 「日独比較の構図、サステナブル社会のまちづくり研究の系譜」 澤田 誠二 (明治大学、団地再生支援協会)
10:40	日本状況概説 「日本の都市計画システムの系譜、直面する制度・財政の改革」 大村 謙二郎 (筑波大名誉教授)
11:10	ドイツ状況概説 「ドイツにおける“サステナブル社会のまちづくり”の現状」 H.シュトレープ (ドイツの都市計画家)
11:40	まとめ 澤田 誠二、大村 謙二郎、H.シュトレープ
12:00	ランチ
13:00	「ドイツNRW州ボトロボップ市のイノベーションシティ構想」 G.ロエル
13:25	「IBAチューリンゲンプロジェクト」 H.シュトレープ GRAS,Dresden
13:50	「団地再生のプロジェクト現場から」 奥茂 謙仁 (市浦 H&P)
14:15	「新しい建築産業」 松村 秀一 (東京大院教授)
14:40	「Gere2030」 R.ミラー (ゲーラ市長)
15:05	「環境未来都市とやま」 高田 (環境政策課)
	「黒部バッシブタウン」 小玉 祐一郎 (神戸芸工大教授)
15:30	コーヒーブレイク
16:00	総括討議 コメント「アーキテクト育成の現場から」 門脇 耕三 (明大講師 サステナブル建築研究所)
16:30	コメント「団地再生グリッド形成の現場から」 猪股 篤雄 (神奈川県住宅供給公社理事長)
17:00	討議・まとめ 澤田 誠二、大村 謙二郎、H.シュトレープ
18:00	会議終了

問合せ・申込み

問合せ
団地再生支援協会事務局
Tel：03-5259-8563
参加申込
<http://www.danchisaisei.org/>
より申込書をダウンロードし、所定事項記入の上、事務局宛にメール、あるいはファックスしてください。
Mail：info@danchisaisei.org
Fax：03-6866-8925

